

(589年)	朝鮮の百済から日本に仏教が伝わる
(593年)	聖徳太子(574～622年)が推古天皇の摂政に任ぜられる
(607年)	法隆寺の創建
大化元年夏(645年)	大化の改新 中央集権国家の始まり
白雉3年(652年)	
6月18日	戸上白山神社が創建される 祭神 大日貴尊・菊理媛尊・伊ざなみ尊
大宝2年(702年)	能生白山神社が創建される 奴奈川神社と伝えられている
和銅3年(710年)	藤原京から平城京(奈良年)に遷都
天平勝宝4年(752年)	東大寺大仏開眼供養なる
延暦3年(784年)	平城京から長岡京(京都と大阪の間年)に遷都
延暦13年(794年)	桓武天皇が長岡京から平安京(京都年)に遷都
平治元年(1159年)	
12月	「平治の乱」が起こり、平清盛と源義朝が対立し清盛が勝利
元暦2年(文治元年)(1185年)	
3月24日	「壇ノ浦の合戦」で、安徳天皇は尼に抱かれて入水し平氏滅亡
建久3年(1192年)	「鎌倉幕府」の成立。源頼朝が征夷大將軍(武家政権の首長)に任命される
正応5年(1292年)	中村神明宮が、徳合城主村山家の鬼門除けとして創建される
建武3年(1336年)	足利尊氏、室町幕府を開く
暦応元年1月(1338年)	新田義貞が越前の国・藤島で戦死した為、主将を失った家来は戸上に隠遁して農夫になる
応仁元年(1467年)	「応仁の乱」(1467～1477年) 京都は戦乱の巷となり幕府の権威は地に落ち、世は戦国時代へ突入していく
文明11年(1479年)	徳合城主村山家から出家し、深山に阿弥陀堂を建立(現在の「正光寺」の前身である)
享祿3年(1530年)	
1月	上杉謙信(1530年)誕生
天文3年(1534年)	「戸上白山神社」が落雷により焼失
天文4年(1535年)	現在の「徳合」は、「名立谷徳合村」となる 「宝昌寺」が仙納から中村に移転して来る
天文12年(1543年)	種子島に来たポルトガル人が、日本に初めて鉄砲(火縄長銃)をもたらした
天文18年(1549年)	フランシスコ・ザビエルが、日本にキリスト教を伝える
天正元年～慶長3年(1573～1598年)	
	安土桃山時代 織田信長・豊臣秀吉が政権を握っていた
慶長元年(1596年)	徳合に土地を寄付し、「阿弥陀堂」は深山から名立小泊村に移転建立した(寺号を「威徳山正光寺」と号する)
慶長3年(1598年)	徳合城最後の城主村山入道安芸守が、上杉景勝と共に会津に移封される 「宝昌寺」に館跡と土地などを寄付し先祖の墓守りを託した
慶長5年(1600年)	関が原の戦いにおいて、徳川家康率いる東軍が勝利した
慶長8年(1603年)	徳川家康が征夷大將軍に任命され、江戸に徳川幕府を開く 以後、徳川幕府は260年間続く
明暦3年(1657年)	明暦の大火があり、以後江戸は大規模な復興が行われた
寛文3年(1663年)	中峰で地滑りが起こる
延宝7年(1679年)	「越後騒動」高田藩で藩士が二派に分かれて争ったお家騒動 小栗美作・大六は切腹、氷見・荻田らは八丈島へ流罪となる
天和3年(1683年)	「徳合崎諏訪神社」が創建される 年貢の基礎台帳が作成されるようになった
貞享4年(1687年)	徳川綱吉が「生類憐みの令」を發布
元祿15年(1702年)	赤穂事件 赤穂浪士が主君の仇を報じるため吉良上野介を討った
宝永元年(1704年)	
6月	「毘沙門天像」が京寺町の仏師によって造られた

享保元年～（1716～）	「享保の改革」八代将軍徳川吉宗が財政難に陥った幕府の立て直しをはかる
享保6年（1721年）	冷害のため、名立谷十八カ村（徳合・仙納・筒石ほか）が減免願いを出す
享保19年（1734年）	「中屋」で火事があり3軒が全焼
宝暦元年（1751年）	
4月25～26日	「高田地震」（名立崩れ）が起こり徳合で7名が死亡（宝昌寺跡に阿弥陀地蔵がある）
安永6年（1777年）	「戸上白山神社」が再建される
天明3年～8年（1783～1788年）	
	天明の大飢饉（奥羽地方より全国に及ぶ）
天明7年～寛政5年（1787～1793年）	
	寛政の改革 松平定信が行った幕府財政の改革
享和3年（1803年）	伊能忠敬が測量のために、「徳合村」を通った
文化5年（1808年）	「徳合崎」で火事があり7軒が全焼 「毘沙門天像」が徳合に移った（庄嶋宅地内の一角）
文政2年（1819年）	
4月10日	「平」で火事があり8軒が全焼 「毘沙門天像」は難を免れる
天保7年（1836年）	天候不順のため農作物は大変な不作の年で、徳合では120俵の 拝借米の願いを出した
天保11年～13年（1840～1842年）	
	「アヘン戦争」で中国がイギリスに敗北し、中国が植民地化される
天保12年～15年（1841～1844年）	
	「天保の改革」老中水野忠邦が幕政の改革に努めたが、強権的な政治手法が 大名などの反発を招き、忠邦は失脚
天保13年（1842年）	
3月16日	中村の「神明宮」焼失
嘉永6年（1853年）	
7月	米国大使ペリーが浦賀に来航、親書を幕府に渡す
安政元年（1854年）	「日米和親条約」を結び 日本開国の第一歩となる
文久3年（1863年）	
8月	「毘沙門堂」が白山神社氏子共有地（堂の前）に再建される
慶応2年～3年（1866～1867年）	
	「薩長同盟」成立 坂本龍馬が仲介し、幕府に対抗することを約束する
慶応3年（1867年）	
10月14日(11月9日)	「大政奉還」徳川第十五代将軍・慶喜（よしのぶ）が、政権を朝廷に返上 天皇中心の政治に戻る
明治元年（1868年）	
9月8日	年号を明治に改める
明治2年（1869年）	中村で火事があり7戸が全焼
明治4年（1871年）	
7月	廃藩置県（地方制度改革）北海道のほか3府72県となる 全国の藩を廃して府県が置かれ、中央集権化が達成される
明治5年（1872年）	
	近代学校制度の導入がなされる
	現在の「徳合」は、「名立二十四庄区杉ノ瀬徳合村」と称された 庄屋・名主・年寄りなどを廃止して、戸長などを設置
4月9日	現在の「徳合」は、この年から「能生第三小区徳合村」となる
明治6年（1873年）	
明治7年（1874年）	
8月8日	「能生小学校付属第三分校」として、徳合校創立
明治8年（1875年）	
2月13日	国民はすべて姓を名乗ることが義務づけられる
8月～翌年8月にかけて、	小学校の校舎新築落成（現在の由平・信州の所）（児童数39名）

明治 10 年 (1877 年)	西南戦争で政府軍が西郷軍を鎮圧
明治 19 年 (1886 年)	「徳合」でコレラ病が蔓延 (7 名死亡)
明治 21 年 (1888 年)	
1 月 25 日	「徳合小学校」が火災で焼失。9 月 22 日 校舎を再建
明治 22 年 (1889 年)	
1 月 4 日	徳合崎で火災があり、全戸数 17 戸のうち 9 戸が全焼
2 月 11 日	大日本帝国憲法の公布
明治 26 年 (1893 年)	
11 月	徳合校は「尋常科徳合小学校」と改称
明治 27 年～28 年 (1894～1895 年)	「日清戦争」
	朝鮮半島の主導権をめぐる清国と戦争し 日本が勝利 台湾を日本の植民地にする
明治 27 年 (1894 年)	徳合で赤痢病が発生、患者は十数名 (6 名死亡)
明治 30 年 (1897 年)	水害と冷害でウンカが大発生して甚大な被害となり 池亀整さんが台湾米 200 俵を買い入れる
明治 33 年 (1900 年)	
12 月 8 日	「徳合崎」で地滑り発生
明治 34 年 (1901 年)	
11 月 1 日	「川崎村」と四ヶ所村が合併して「磯部村」となる
明治 35 年 (1902 年)	
12 月 12 日	「徳合漁業組合」設立
明治 37 年 2 月 8 日～38 年 9 月 5 日 (1904～1905 年)	「日露戦争」
	韓国と満州との支配権をめぐる、日本と帝政ロシアとが戦い日本が勝利する 戦勝を祝い「手崎」の道に、杉の凱旋門を作って兵士を迎える
明治 38 年 (1905 年)	
明治 40 年 (1907 年)	
3 月 21 日	小学校義務教育が四年制から六年制になる 徳合全域で洪水がおこり、田畑の作物のほとんどが全滅
明治 41 年 (1908 年)	「戸上白山神社」の拝殿を新築
明治 42 年 (1909 年)	
2 月 26 日	「徳合信用購買利用組合」設立 (組合員 103 名)
明治 45 年 (1912 年)	土地を買い入れ「毘沙門堂」を現在の場所に設置
明治 45 年 (1912 年)	
7 月 22 日	大雨による大洪水が各所で発生し、住宅などにも被害がでる
大正元年 (1912 年)	
12 月 16 日	「筒石駅」と「能生駅」の開業 (名立～糸魚川間が開通)
大正 2 年 (1913 年)	
4 月	「国鉄・北陸本線」全線開通 「筒石小学校」に尋常高等小学校が併設される (自由進学で 2 年制)
大正 4 年 (1915 年)	
10 月	「徳合小学校」の新校舎 (現在の公民館) が落成し移転 (児童数 100 名)
大正 5 年 (1916 年)	米の検査が始まる
大正 5 年～13 年 (1916～1924 年)	
	「浜徳合」から新しい道路を作り始める 8 年間の歳月をかけ、大正 13 年「平」の十字路まで完成
大正 6 年 (1917 年)	「筒石駅」構内で地滑り発生
大正 8 年 (1919 年)	「徳合崎」の児童が、この年度より「筒石小学校」に編入
大正 12 年 (1923 年)	
9 月 1 日	「関東大震災」関東地方南部に大地震が起こり、 東京・横浜は壊滅状態に陥る「東京」の約 3/4 が消失

大正 13 年 (1924 年)	
5 月	「徳合小学校」の屋外運動場が拡張される
大正 15 年 (192 年)	
5 月	「徳合」の全戸に電灯がついた
昭和元年 (1926 年)	徳合小学校の児童数 113 名 (男 58 名・女 55 名)
昭和 2 年 (1927 年)	
2 月 8 日～14 日	大雪のため徳合・筒石・大洞などで雪崩れが続出
2 月 9 日	午後 1 時頃に小左工門宅が雪崩れで倒壊 (子供 4 名圧死) 学校下校途中の児童が雪崩れの下になったが全員救出される
昭和 3 年 (1928 年)	
11 月	御大典奉祝 (昭和天皇ご在位の祝い) の旗行列・提灯行列・仮装行列が盛大に行われる
昭和 4 年 (1929 年)	
	「奉安殿」を徳合小学校の校庭に建立 (池亀整さんの寄付) 桜の苗木 36 本を校庭に植樹 児童数 110 名
昭和 6 年 (1931 年)	
	「山本」で地滑りが発生 復旧工事に携わった工事監督が、 徳合行進曲を作詞してくれた
4 月	「戸上白山神社」に社務所竣工
昭和 6 年 9 月 18 日～8 年 5 月 31 日 (1931～1933 年)	「満州事変」 軍部の台頭によって日本が中国東北部へ武力侵略し満州国という傀儡政権樹立
昭和 6 年 (1931 年)	
	新嘗祭で献穀圃が「八久保」の畑で耕作される 粟を栽培し、皇居に献上
昭和 9 年 (1934 年)	
4 月	皇太子明仁親王 (現在の天皇陛下) ご誕生を記念し徳合小学校玄関前に ヒノキ 2 本を記念樹として植樹
昭和 12 年 (1937 年)	7 月 7 日～昭和 20 年 (1945 年) 8 月 15 日・日本降伏
	「日中戦争 (支那事変・日華事変)」→「太平洋戦争」へと拡大していく 日本の中国に対する侵略戦争である「盧溝橋事件」が発端
昭和 14 年 (1939 年)	
8 月 5 日	新道を「中村」まで新設し、開通式が行われる
12 月	「手崎」で地滑りが発生し、亀裂ができる 「平」の一部では 30～50cm の落差発生
昭和 15 年 (1940 年)	
	皇紀二千六百年を記念し、新道 (現県道) に 100m ごとに桜の木 20 本と ツツジを植樹 (池亀整さんの寄付) この年から「中屋新道」の建設を着工。8 年の歳月をかけて完成に至る
昭和 16 年 (1941 年)	
4 月	徳合小学校を国民学校と改称 (初等科 6 年・高等科 2 年)
8 月	食料の米が配給制になる
12 月 8 日	「太平洋戦争」始まる 経済封鎖を打破するため、アメリカ・イギリスに宣戦布告
昭和 17 年 (1942 年)	徳合で児童の健康状態が悪化 (6 名死亡)
昭和 19 年 (1944 年)	
6 月	徳合で赤痢患者が続出 (11 名死亡)
7 月	大雨になり、荷屋敷で地滑り発生
12 月～翌年 2 月	大雪にみまわれる
昭和 20 年 (1945 年)	
8 月 15 日	「ポツダム宣言」を受諾し、太平洋戦争集結 終戦の詔勅の放送がある
昭和 21 年 (1946 年)	
2 月	「農地解放」実施 12 月には 2 回目実施
3 月 6 日	徳合で「男女青年団」が結成された
12 月 12 日	「筒石駅」上り線路に、地滑りにより土砂流入

昭和 22 年 (1947 年) 4 月 1 日	義務教育の六・三制の実施 「徳合国民学校」は「徳合小学校」と改称される 「尋常高等小学校」が三年制となり「磯部中学校」と改称される
昭和 24 年 (1949 年) 昭和 24 年 (1949 年) 3 月 30 日	「磯部農業協同組合」が「徳合信用購買利用組合」を吸収合併する 「名立小泊」に漂着の機雷が爆発して多くの犠牲者がでる (死者 63 名、うち 42 名は小中学生)
昭和 25 年 (1950 年) 6 月 25 日	「朝鮮戦争」金日成らが引き起こした内戦 1953 年 7 月に 休戦協定が調印され、38 度線に沿った軍事境界線を設定
昭和 26 年 (1951 年) 9 月 8 日	「サンフランシスコ講和条約」調印 国際法上も戦争状態終結 翌年 4 月 28 日発効される
昭和 26 年 (1951 年) 12 月	「能生灯台」弁天岩に設置
昭和 27 年 (1952 年) 昭和 28 年 (1953 年) 12 月	「名立灯台」鳥ヶ首岬に設置 名立～能生間に頸城バスの運行開始 「徳合崎」に停留所ができる
昭和 29 年 (1954 年) 10 月 1 日	徳合小学校の児童数 90 名 四町村が合併して「能生町」誕生
昭和 30 年 (1955 年) 4 月 1 日	直江津～糸魚川間に頸城バスの運行開始
昭和 31 年 (1956 年) 10 月 1 日 12 月 16 日 12 月 21 日	町村合併記念で、第一回「能生町駅伝マラソン大会」を開催 「長坂」で地滑り発生、徳合川まで土砂の流出で道路は通行止め 耕地も被害甚大になる 「徳合崎」で地滑りが発生し、北陸線の列車転覆事故が起こる
昭和 32 年 (1957 年) 9 月 20 日	「筒石」でプロパンガス運搬車転落事故が発生し、大火となり 住宅 17 戸が全焼 (うち徳合地区では 6 戸) 「袋新道」開通
昭和 33 年 (1958 年) 昭和 34 年 (1959 年) 昭和 35 年 (1960 年) 4 月 22 日	「公衆電話」開設 (池亀弥平宅に設置される) 「八ヶ尻農道」完成 徳合小学校の児童数 110 名 「中村」で火災が発生 (8 戸全焼、1 戸半焼)
昭和 36 年 (1961 年) 9 月 16 日 10 月 15 日	「農道深山線」が完成 第二室戸台風で山林や稲作の被害が甚大 「能生町駅伝マラソン大会」で全徳合チームが優勝し以後、四連勝達成
昭和 38 年 (1963 年) 3 月 16 日	新国道八号線が海側に建設され、浜徳合内の国道が町道となる 「能生小泊」で地滑り発生
昭和 39 年 (1964 年) 4 月	「徳合地区」で葉煙草の耕作開始
昭和 39 年 (1964 年) 6 月 16 日 10 月 3 日 10 月 10 日	「新潟地震」発生 津波が日本海沿岸一帯を襲う、粟島が約 1m 隆起した 「東京オリンピック」の聖火リレーが徳合崎を通る 「東京オリンピック」の開催 アジアでは初めて開催。参加国は 94 ヶ国と 当時史上最高の規模となり、衛星中継で世界各国に放映される

昭和40年(1965年)	「ベトナム戦争」の激化(～1973年に戦争終結)
昭和41年(1966年)	「国鉄北陸本線」の複線電化工事が始まる 建設廃土を「荒田」「堀ノ下」の耕地に埋め立てる
昭和42年(1967年)	
3月31日	「徳合」が、農地地滑り防止指定地に認可される 13年の歳月をかけ、昭和54年まで「地滑り防止事業」を行った
8月1日	「能生町有線放送」開局
昭和44年(1969年)	
4月1日	「磯部小学校」発足(磯部地区の6小学校を統合) 徳合校舎となる(児童数40名)
6月1日	徳合まで定期バスが運行を開始し、座又下バス停まで運行
10月1日	「国鉄北陸本線」複線電化工事竣工 「能生駅」、「筒石地下駅」の営業開始 「徳合老人クラブ」創立 初代会長・井田忠七さん(会員数65名)
昭和45年(1970年)	
9月	「磯部小学校」の新校舎完成
昭和46年(1971年)	
3月31日	徳合校舎を、「徳合公民館」に利用変更する 能生町営上水道が、徳合崎全戸に設置される
昭和47年(1972年)	
2月1日	能生町道徳合線が、県道に格上げされる 白山林道が完成し、車で「戸上白山神社」まで行けるようになる 徳合地区にも町営ゴミ収集が実施されるようになった 「中村」まで県道が拡幅され、頸城バスは中村バス停まで運行
昭和48年(1973年)	徳合川が、二級河川に認定される
昭和49年(1974年)	
5月10日	「徳合テレビ協同受信施設組合」の発足
昭和50年(1975年)	
1月13日	「筒石保育園」完成、「一心会」の設立
昭和52年(1977年)	中村の「宝昌寺」解体 上徳合農地地滑り関連圃場整備事業が始まる(昭和57年完了)
昭和54年(1979年)	
5月	「磯部地区公民館」(農村環境改善センター)竣工
昭和57年(1982年)	
11月	JR「上越新幹線」開業
昭和58年(1983年)	中徳合農地地滑り関連圃場整備事業が始まる(昭和62年完了)
昭和60年(1985年)	
1月6日	「徳合崎」の国道8号線に土砂が流出し、三日間不通となる
4月21日	能生海岸の「弁天岩」までの、「あけぼの橋」が完成
昭和61年(1986年)	
1月26日	能生谷の「棚口地区」で大規模な表層雪崩が発生 (住宅11戸が被災、13人死亡) 「徳合」の活性化を願う若人が集い、「戸上会」が結成される 「希望が丘フェスティバル」などのイベントが開催された
昭和61年(1986年)	ソ連でゴルバチョフによって、政治や経済の改革が始まる
昭和62年(1987年)	
7月21日	「北陸自動車道」上越・名立谷浜間が開通
昭和63年(1988年)	
7月20日	「北陸自動車道」全線開通
12月	能生町営上水道が徳合地区全戸に設置される

昭和 64 年・平成元年 (1989 年)	
1 月 7 日	昭和天皇が崩御され、平成の時代が始まる
平成元年 (1989 年)	
5 月 8 日	「徳合老人クラブ」創立 20 周年の記念事業として公民館広場に桜の木・ソメイヨシノを植樹する
6 月	「能生マリンドリーム」開園 東西ドイツを分断していた「ベルリンの壁」取り壊し。翌年ドイツの統一 中東で「湾岸戦争」勃発
平成 3 年 (1991 年)	
平成 4 年 (1992 年)	
4 月	「能生町有線テレビジョン」開局
平成 5 年 (1993 年)	
4 月	特別養護老人ホーム「おおさわの里」開所
夏	「40 年ぶりの冷夏」農作物の成育是最悪の状態
9 月 25 日	政府は米の供給不足に対処するため、緊急輸入を決定する
平成 6 年 (1994 年)	
夏	「少雨猛暑」の異常気象で、甚大な干ばつ被害になる
10 月	能生町緊急告知放送の開始
平成 7 年 (1995 年)	
1 月 17 日	「阪神淡路大震災」が起こり、神戸・淡路島を中心に甚大な被害を受けた（震度 7、死者 6,279 人）
2 月 28 日	「徳合地域」が活性化するために「徳合ふるさとの会」の創立 この年の春から県道のゴミ拾いを皮切りに活動を開始する
3 月 20 日	東京の地下鉄で猛毒サリンが撒かれる（12 名死亡）
7 月 11 日	大雨のため大洪水となり、頸城地方は甚大な被害をこうむる
平成 9 年 (1997 年)	
1 月	ロシア船「ナホトカ号」が福井県沖で座礁し、重油流出災害が発生
平成 10 年 (1998 年)	
3 月	「徳仙地区汚水処理施設」（下水道）竣工、供用の開始
平成 11 年 (1999 年)	
	一ノ谷線改良工事 平線（堂坂）開通 「徳合農村公園」が「江代」に開園
平成 12 年 (2000 年)	
8 月 14 日～16 日	「写真で見る徳合の 20 世紀展」が徳合公民館の主催で開催
7 月	観光施設「うみてらす名立」オープン（2008 年に「道の駅」に登録）
平成 13 年 (2001 年)	
10 月	「徳合風力発電所」が稼動を始める
10 月 2 日	「徳合ふるさとの会」が糸魚川・西頸城地方で最初の NPO 法人（特定非営利活動法人）として認証される
平成 16 年 (2004 年)	
10 月 23 日	「中越地震」が起こり、長岡市を中心に甚大な被害を受ける 「山古志村」が孤立
平成 17 年 (2005 年)	
2 月 28 日	「徳合城跡」が糸魚川市文化財に指定される
2 月	国土交通省主催の日本風景街道に「枝垂れ桜の咲く里への回り道」をテーマにして応募する
3 月 19 日	新しく「糸魚川市」が誕生（糸魚川市・能生町・青海町が合併）
平成 18 年 (2006 年)	
12 月 4 日	県道 431 号が崩落し通行不能となり、翌年の 5 月 23 日まで市道袋線を迂回路として使用

平成 19 年 (2007 年)

- 3月21日 「日本風景街道・森のコンサート」が残雪のなか「磯部中学校」の生徒の皆さんの協力を得て木戸口で開催される
枝垂れ桜2本・山ぼうし5本が記念植樹された
- 3月 「徳合ふるさとの会」が、磯部中学校の入り口に学校名を書いた樺で作った大きな看板を寄贈した
- 3月25日 「能登半島地震」が起こり、輪島市を中心に甚大な被害を受ける
- 7月6日 国土交通省が主催する北陸地方の「風景街道」に日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」北陸一第6号が登録される
- 7月16日 「中越沖地震」が起こり、柏崎市を中心に甚大な被害を受ける
「徳合ふるさとの会」が、仙納地区農村集落センターに看板を寄贈

平成 20 年 (2008 年)

- 3月15日 「日本風景街道・海辺のコンサート」開催
(磯部中学校の生徒の皆さんの協力を得、磯部の浜公園で開催)
蘇鉄2本・シユロ4本を記念植樹する
- 5月23日 「徳合パソコン教室」が開かれ、多くの人が受講し
翌年1月15日まで金曜日の夜に継続的に開催された
- 8月 「徳合公民館」の大規模な改修工事完成
- 10月18日 「上杉氏と徳合城」講演会と徳合城址見学会の開催
- 11月 米国大統領選挙でオバマ氏が当選、翌年1月に就任

平成 21 年 (2009 年)

- 6月 「徳合楽人会」創立40周年を記念して公民館に松の木2本を記念植樹
- 8月16日 浜徳合の有志が中心となり「蕎麦プロジェクト」が行われ、蕎麦栽培を通じた地域活性化の取り組みを始める
- 8月23日 「糸魚川地域」が世界ジオパーク(大地の公園・地質遺産)に認定される
(「洞爺湖有珠山」、「島原半島」も同時に認定)
- 9月16日 民主党政権誕生

平成 22 年 (2010 年)

- 3月21日 「磯部中学校」閉校(63年の歴史を閉じる)
- 4月11日 「枝垂れ桜の花街道を巡るハイキング」開催
- 7月~9月 記録的な猛暑に見舞われ、熱中症や農作物の被害甚大
- 8月 「徳合公民館」に屋外放送設備とカラオケセットが設置される
- 8月23日 「日本ジオパーク糸魚川大会」開催
- 10月 世界ジオパークに「山陰海岸」が国内4地域目に認定される
- 11月 写真展「立ちどまる風景 徳合千本枝垂れ 百選」開催